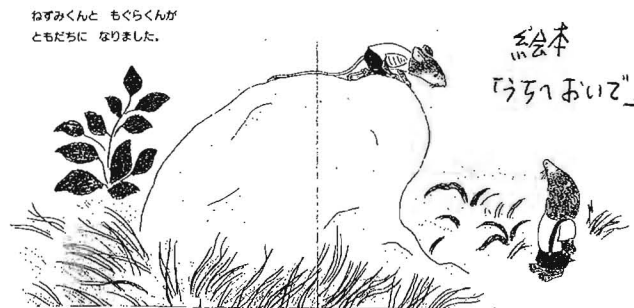


5月の園便り



23年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

幼稚園周辺の水仙やチューリップが咲いて、そして中庭（プールの庭）の桜も咲いてようやく春らしくなってきました。やわらかなおひさまの光のもと、園庭で遊ぶ子どもたち。ゆったりとできる広さ、そしてゆったりとした時間の流れは、子どもの心をおだやかにしますし、自分のやりたいことが実現できる環境は子どもの心が開放されます。

入園してまだまだ日が浅い赤ばらさん（年少）は頑張っている日々です。ある日のこと、保育室から出てきた赤ばらのK君に出会いました。「あら、K君どうしたの？ なにか困ってる？」と聞きますと、K君「えんちょうせんせい、K、つかれましたあ〜」 そうでしょうね、新しい環境でしかも新たに出会った子どもたちが大勢いるんですものね、そこでK君を職員室に誘い絵本を読みました。でも、K君の心は大地にストンと降りてこない感じがします。そこで今度は園庭に誘いました。鶏に“なずな”を食べさせて・・・ブランコをして・・・そして砂でご飯を作り始めました。次第に面白くなってきたらしく、たくさんご飯をつくったり、プリンをつくったり、自分で必要なおもちゃを取りにいったりし始めました。（自分で〇〇がいると思ったから取りに行く・・・これは大事な意欲です。）

しばらく夢中になって遊んでいると「おやつですよ〜」の声、「あ、おやつの時間だ、お部屋に行こうね」というと「ううん、いかな〜い！」今日のおやつは何だろうね、おやつ食べたいねなどと言っても「おやついらない」と砂遊びを続けます。子どもが夢中になれるものに出会ったときにはまるで、“心が大地に根ざすみたい”に感じます。心を落ち着けてしっかりと楽しむことができる経験は、子どもが自ら、自分の世界を広げていこうとする力を育みます。楽しい思いをたくさん感じてもらいながら、幼稚園の生活リズム・集団生活のルール・約束などを少しずつ無理なく伝えていきます。本来ルールや約束は集団において、心地よく過ごすために必要なものであり、ルールがあると楽しく遊べるとても便利なのものです。でも、規則・ルール・約束が先行してしまいますと、規則・ルール・約束は、それに縛られる不自由なものになってしまいます。規則・ルール・約束が先行する世界では、大人の言いなりに動く子ども（なんでも“はい”と返事をして、いうことを聞く子ども）大人の意に沿おうとする子ども（大人の気持ちを察してそのように動こうとする子ども）が育ち、また、反感も同時に育ってしまいます。“生き生きとした子ども、のびのびと行動できる子どもを育てる”とよく言われますが、その目標を具体化するために必要なこととは何でしょう。優しさでしょうか厳しさでしょうか、子どもの意欲を大切にすることでしょうか、大人の考えを押し付けることでしょうか、子どもの人格を尊重することでしょうか、みくびることでしょうか・・・皆様もお分りの通り前者です。

5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	日	/	/		
2	月	○	2:00		
3	火	/	/		憲法記念日
4	水	/	/		みどりの日
5	木	/	/		子どもの日
6	金	○	2:00		
7	土	×	11:30		自由登園日
8	日	/	/		
9	月	○	2:00		赤ばらさん給食試食会です。
10	火	○	2:00		赤ばらさん給食試食会です。
11	水	○	2:00		赤ばらさんは、本日より給食が始まります。降園時間が2:00になります。
12	木	○	2:00		
13	金	○	2:00		「生ごみ先生」の講演会が行われます。
14	土	/	/		第2土曜日
15	日	/	/		
16	月	○	2:00		
17	火	○	2:00		
18	水	○	2:00		定期健康診断
19	木	○	2:00		赤ばら1組学級懇談
20	金	○	2:00		赤ばら2組学級懇談
21	土	/	/		公開講座のためお休みです。
22	日	/	/		
23	月	○	2:00		
24	火	○	2:00		
25	水	×	11:30		誕生会です。5月生まれの保護者の皆様と一緒に祝いましょう。
26	木	○	2:00		
27	金	○	2:00		
28	土	/	/		第4土曜日
29	日	/	/		
30	月	○	2:00		
31	火	○	2:00		